

**1 はじめに ～3年生の現況～**

9月下旬に、3年生が受験する大学入学共通テストの志願票を発送しました。刈高祭が終わったタイミングで大学入学共通テストの志願票を発送することが、本格的な受験勉強開始のスイッチになったように感じています。とにかく、健康な状態で受験し、希望する進路が実現することを祈るばかりです。そして、その成功例を2年生に伝え、刈高のよき伝統が続いていくことを切望しています。

校内では、朝早くから夕方遅くまで学習室で必死に学習する姿を目にします。昼休みも学習をしている生徒が増えています。そのような姿は頼もしく感じますし、その背中を見ている後輩たちにも好影響を与えるはずです。

2年生においては、各定期考査前の土曜日に開放する学習室に毎回80名くらいが参加し、例年より多くの生徒が足を運んでいます。また、10月中旬に希望者が受験するハイレベル模試にも約80名の生徒が申し込んでおり、意識の高い生徒が多いと感心しています。

**2 実力テストについて**

本校では進路指導部主導で課題・実力テストを4、9、10、1月に行っています。1、2年生の実力テストは10月のみ（他3回は課題テスト）ですが、教員側も生徒の実力が測れるように作問に力を入れて行っています。また、成績個票の返却以外に各教科担当者が記す「講評」を生徒に配付し、厳しくも温かいメッセージを生徒に伝えています。

とりわけ、3年生の9、10月実力テストは、12月に行う進路検討会の貴重なデータとなっています。また、入試で成功を取めた卒業生に関しては、1～3年の10月実力テストの結果との相関を『進路の手びき（16～24ページにあります）』に掲載させてもらっており、後輩たちの貴重な判断材料となっています。したがって、2学期中間考査を終えた2週間後に実施されるという忙しい日程ですが、実力テストをしっかり受験してほしいと思います。「予習」ということで、以下に3年生9月実力テストの講評からの抜粋を載せておきますので、今後の学習の参考にしてください。

**3年9月実力テスト講評より抜粋****3年国語**

・問をよく読んで、何を答えるか解答しよう。単語や文法書は入試直前まで何度も隙間時間に見直そう。

**3年英語**

・自分が書いた文をきちんと読み直そう。部分部分は正しく思っても全体をみると何を言っているか分からない解答を書いていないだろうか？自分が理解できない文は、採点者には伝わらないです。

**3年数学**

・共通テストはとにかく訓練が必要です。

・これをやったら必ず伸びるという勉強法はありません。自分の目的に合った勉強ができていないか考え直してみよう。

**3年物理**

・自力で出した解答が複雑であっても、自分の考え方を信じて解答に書くこと。物理にこだわりを持つ。

**3年化学**

・繰り返し演習に取り組んでください。

**3年生物**

・一朝一夕には力をつけることができません。

**3年総合理科**

・多くの受験生が苦手とする分野を早期に克服することが重要です。

**3年日本史**

・マークだろうが記述だろうが、理解すべきことは同じです。

**3年世界史**

・既習範囲の復習を怠れば、準備不足のまま共通テストを迎えることになります。実力は日々の積み重ねでつけるもの。

**3年地理**

・2学期のキーワードは「inspiration」。感性が研ぎ澄まされ、閃きが湧いてくるのはこれからです。

**3年公民**

・知識があいまいな初めのうちは解説を読むだけではなく、資料集をしっかりと開き、その選択肢の周辺の知識まで関連づけて学習することを心掛ける

### 3 令和4年度入試（現3年生が受験）を取り巻く環境

- ・18歳人口減による競争緩和（国公立大も含めて） →より努力が報われやすい
- ・地元、資格（医、薬、看護、食物系など）志向の強まり
- ・「行けそうな大学ではなく行きたい大学へ」

これは、令和4年度入試を取り巻く環境について、入試研究会等で聞いた話の要旨です。昨年度多くの入試変更がありました。今年度は昨年度の変更のまま行われるのか、また、一昨年レベルに戻るのかなど、状況をしっかりと把握する必要があります。こうした現状を注視して3年生の入試を見守っていただき、来年度入試の参考にしていただければと思います。

10月の実力テストの次に、11月上旬に\*進研模試を実施します。この模試からは理科・社会も加わります。難関大合格の秘訣としては、この時期からの模試の成績の安定、そして上昇がポイントになります。まさに2年生2学期の目標である「下学上達（初歩的な学びを怠らず進歩向上をめざす）」の精神で学習し、各試験に臨んでほしいと思います。

9月に行われた生活実態調査をみると、高い目標を持った生徒が多く、「行けそうな大学ではなく行きたい大学」を目指すことができています。高い目標を実現できるように全力でサポートをしていきます。

\*「国数英」に関しては11月5日(金)に「学びの基礎診断」として実施し、理社は6日(土)に実施します。

### 4 ドラゴン桜の影響

今年の4～6月に放送された「ドラゴン桜」が人気を博しました。コミックを読み、16年前の放送も視聴していた私は毎回楽しく視聴しました。実用的なアドバイスが豊富であり、もう少し詳しく知りたいと思い、『ドラゴン桜とF F S理論が教えてくれる あなたが伸びる学び型』という本を読みました。その本の最初に、「あなたの計画の立て方は『保全型』、『拡散型』のどちらが向いているか」という話がありました（下の枠内に一例を示しました）。私はあれもこれも仕事を同時に進めるタイプなので『拡散型』ですが、高校生の時にそこまで深く考えたことはなく、「問題集は1冊終わるまで次のものには手を出してはいけない」という教えを忠実に守り、苦しみながら学習をしていた記憶があります。

大学入試に関しましては、学習だけでなく、模試や入試日程等を含めて多くの計画を立てることが求められます。教員として、そういったことまで生徒に意識的に伝えていかなければならない、と考えさせられました。入試を経験するなかで生きていくうえで「要領の良さ」が身についていくものです。成績が上がらずに苦しむ時期はだれにもありますが、その経験が将来役に立つということを踏まえ、お子様一人ひとりと向き合い、熱心に指導をしていきたいと痛感しています。

◎性格に合った計画の立て方 ～『保全型』と『拡散型』～

「本を読むとき、① 1冊全て読み終えてから次の本を読むか、②同時にあれこれ読むか」

①タイプ：『保全型』

- ・勉強する場所は固定する。
- ・1日ごとのノルマを決める。
- ・仲間に進捗状況を報告する。
- ・今持っている問題集を徹底的にやる。
- ・ハイレベルな問題には手を出さない。

②タイプ：『拡散型』

- ・勉強する場所は気分で決める。
- ・ノルマは5日間の中で調節する。
- ・憧れの人をロールモデルにする。
- ・テンションの上がる問題集を1冊見つける。
- ・ゲーム感覚でハイレベルな問題に挑戦する。

### 5 最後に

一昨年まで10月の中間考査中に実施されていた学年保護者会が昨年に続き中止となってしまいました。例年、この会で実施していた保護者の方を対象とした進路に関する講演ができませんので、「オンラインによる（駿台予備学校による）進路講演」を計画中です。11月中旬頃をめぐりにお子様を通して視聴方法をお伝えする予定です。お一人でも多くの方がご視聴いただければ幸いです。

（文責 進路指導主事 岩崎 達哉）

参考資料

河合塾、駿台予備学校、ベネッセコーポレーション各種進学指導資料、『ドラゴン桜とF F S理論が教えてくれる あなたが伸びる学び型（古野俊幸著 日経BP）』